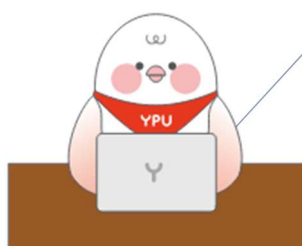


# Microsoft365 サインイン、Office インストール手順書（MAC 用）



第3版：2026.04.01

将来構想推進局 DX・IR推進室

# 目次

はじめに .....	2
1. 事前準備の確認 .....	2
2. サインイン設定と2段階認証の設定 .....	3
3. Office アプリのインストール .....	8
4. 注意・補足事項 .....	12
5. 問い合わせ先 .....	13

## はじめに

2024年4月より、Microsoft365を学内のグループウェア（コミュニケーション、情報共有、共同作業など、学業や業務の推進・効率化を図るためのプラットフォーム）として活用しています。本目的遂行のため、Microsoft社が教育機関向けに提供しているA5プランと呼ばれるライセンスを全学生・全教職員に付与しました。このマニュアルでは新しくPCを購入した人向けに、A5プランを利用してMicrosoft365を使い始める時に必要な手順と、Office（Word、Excel、Outlookなどのアプリ）をインストールする方法を説明します。

なお、Windowsコンピューターをお使いの方は、別マニュアル（Microsoft365設定手順書）を参照ください。

画面の表示は、お持ちのパソコンや既にインストールされているアプリやバージョンなどによって変わることがあります。このマニュアルで表示されている画面ショットは一例として見てください。

### 1. 事前準備の確認

パソコンを起動してデスクトップ画面を表示することが可能であることを確認してください。まだ購入直後などでデスクトップ画面を出せない場合は、初期設定手順書（初回起動時）を参照して下さい。

インターネットに接続可能な環境であることを確認してください。本マニュアルでは学内のWifiへ接続を行って設定しています。

通信可能なスマートフォンが手元にあることを確認してください。Microsoft365を利用するために2段階認証が必要になります。本マニュアルではその認証方法としてMicrosoft Authenticatorというスマートフォンアプリを使用します。スマートフォンをお持ちでない場合などの理由でアプリを利用できない場合は別の方法を使用しますのでDX・IR推進室にお知らせください。

## 2. サインイン設定と2段階認証の設定

大学から付与された Microsoft365 アカウント（メールアドレス）をパソコンに登録し、サインイン時に2段階認証を使った本人確認を行うよう設定します。

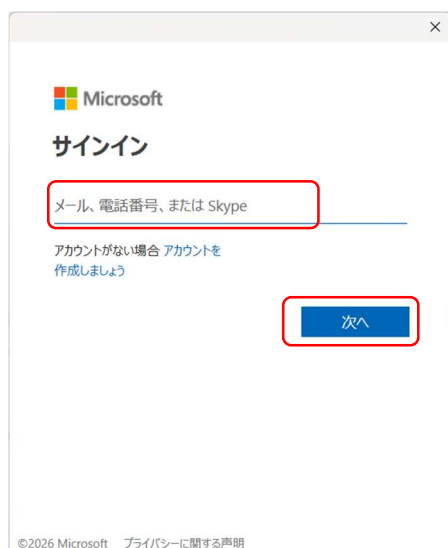
ドックバーにある Safari のアイコンをクリックして起動します



アドレス欄に「office.com」を入力してエンターを押すと下記画面が出るので、「サインイン」をクリックします。



D X・I R推進室から発行されたメールアドレス（～@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp）を入力して「次へ」をクリックします。



D X ・ I R 推進室から発行されたパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。



Microsoft  
y100ks001@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

### パスワードの入力

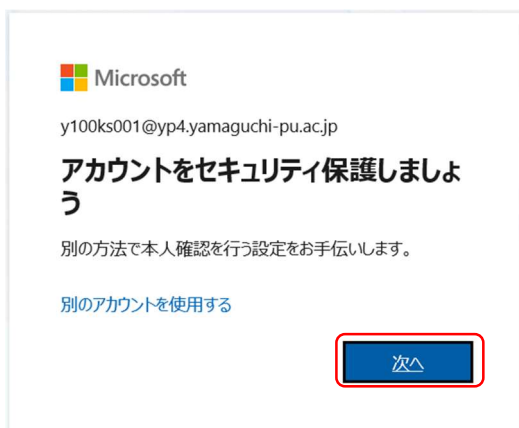
パスワード

[パスワードを忘れた場合](#)

[別のアカウントでサインインする](#)

サインイン

「アカウントをセキュリティ保護しましょう」画面が出た場合は、2 段階認証の登録が必要になります。「次へ」をクリックします。



Microsoft  
y100ks001@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

### アカウントをセキュリティ保護しましょう

別の方法で本人確認を行う設定をお手伝いします。

[別のアカウントを使用する](#)

次へ

「Microsoft Authenticator のインストール」画面が出るので、このタイミングでスマートフォンに Microsoft Authenticator アプリが入っていないはインストールしてください。インストールが完了した場合や、すでにインストール済みの場合は「次へ」をクリックします。



y100ks001@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

### Microsoft Authenticator のインストール



モバイル デバイスにアプリをインストールしてから、ここに戻って続行します。

[GET IT ON Google Play](#) [Download on the App Store](#)

[別の認証アプリを設定する](#)  
[別のサインイン方法を設定してください](#)

次へ

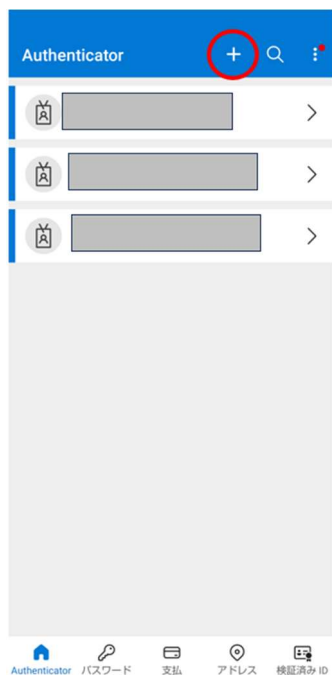
## ●留意事項

既にアプリがスマホにインストールされており、別の Microsoft のアカウントを現在使用している場合は、絶対にアンインストールや再インストールをしないでください。既に登録済みのアカウントにログインできなくなります。

(この画面の説明通り) スマートフォン側で Microsoft Authenticator がアプリの通知許可を求めてきた場合は許可します。



スマートフォン側で Microsoft Authenticator アプリを開き、「アカウントを追加」から「職場または学校アカウント」を選択します。



ここには、既に設定済みのアカウントが表示されます。初めて Authenticator をインストールしたスマホでは、何も表示されていません。



その後、パソコンの画面の「次へ」をクリックします。

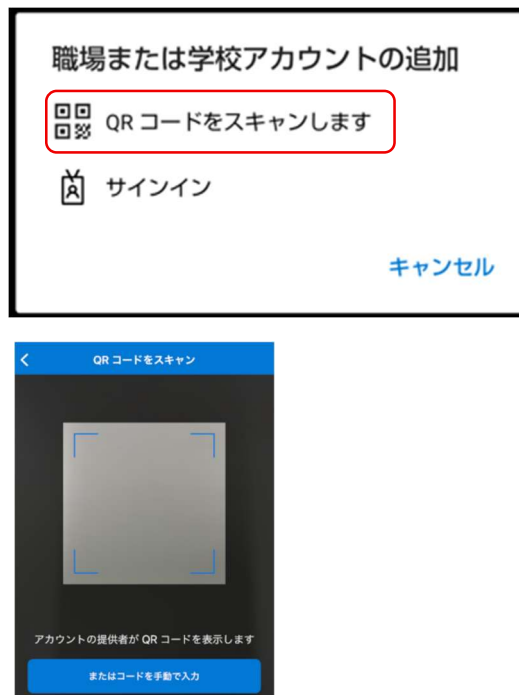
下記の画面が出るので、スマートフォンの画面の「QRコードをスキャンします」を選択し、パソコン画面のQRコードをスキャンします。※「カメラ」アプリでスキャンしないよう注意してください。

スキャンが完了すると、スマートフォン側でアカウントが登録されるので、パソコン画面の「次へ」をクリックします。

(PC側の画面)



(スマートフォン側画面)

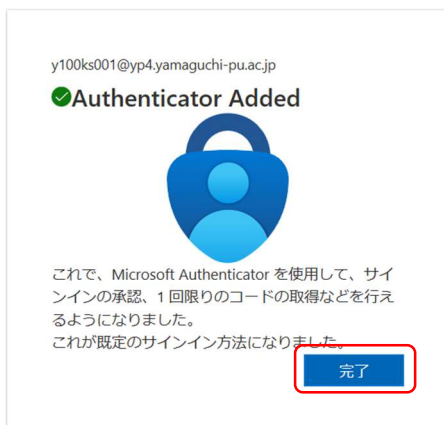


下記画面が出ると同時にスマートフォン側で入力画面が出るので、パソコン画面の数字2桁をスマートフォンに入力して「はい」を選択します。ここで、スマートフォン側にセキュリティ設定されている場合、スマートフォンの指紋認証・顔認証などが出ますので対応してください。

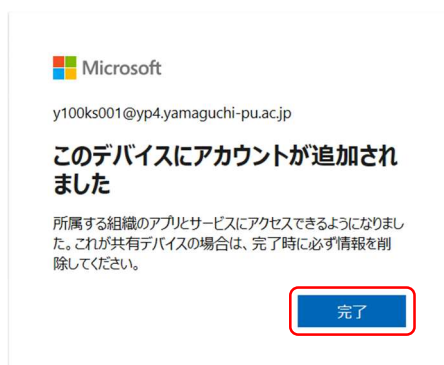


★トラブルシューティング：スマホでパソコン画面の QR コードをスキャンしても、先に進まない。  
QR コードがタイムアウトしたためです。パソコン側で「別のサインイン方法を設定してください」をクリックし、次の画面で「Microsoft Authenticator」をクリックし、QR コードを出します。

2 段階認証の登録が完了しましたので「完了」をクリックします。



アカウントの登録が完了しましたので「完了」をクリックします。

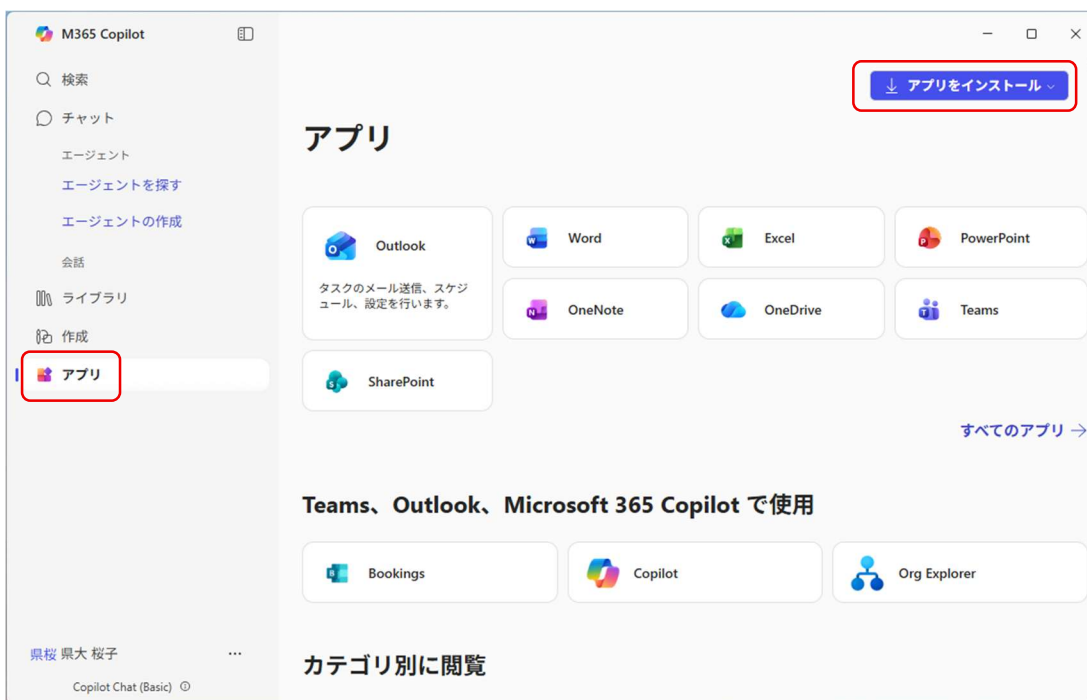


### 3. Office アプリのインストール

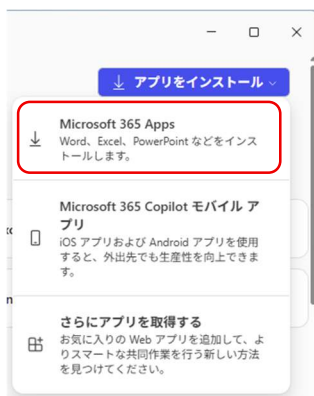
Word、Excel、Outlookといったアプリの総称が Office です。皆さまには Microsoft365 の最新版の Office をインストールするための A5 と呼ばれるライセンスが付与されています。もし、パソコンに Office がインストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

3. と同様にドックバーから Safari を起動し、アドレスバーに「office.com」といれてエンターを押します。下記の Copilot Chat 画面が出ない場合は、3. のサインインを行ってください。

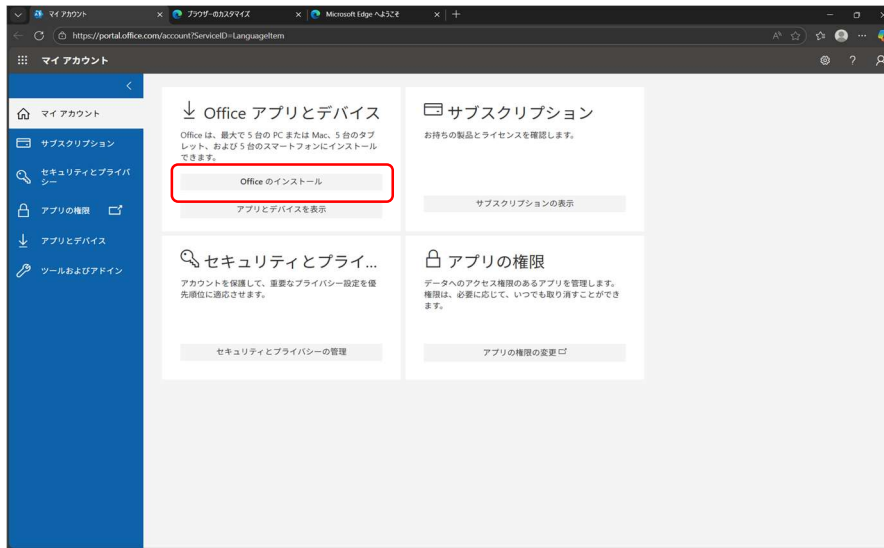
画面左の「アプリ」の文字をクリックすると、画面右上に「アプリをインストール」が表示されるのでクリックします。



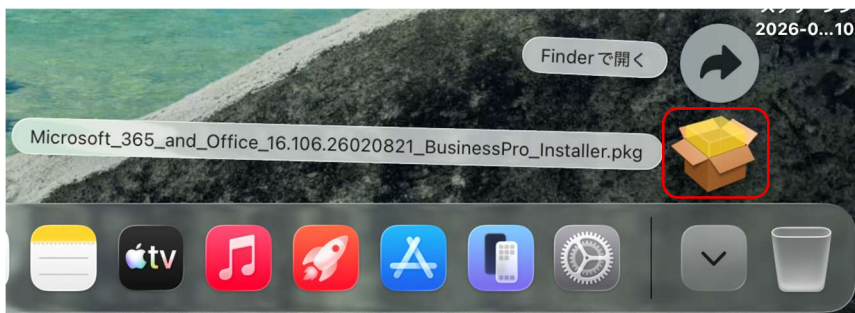
「Microsoft 365 Apps」を選択します。



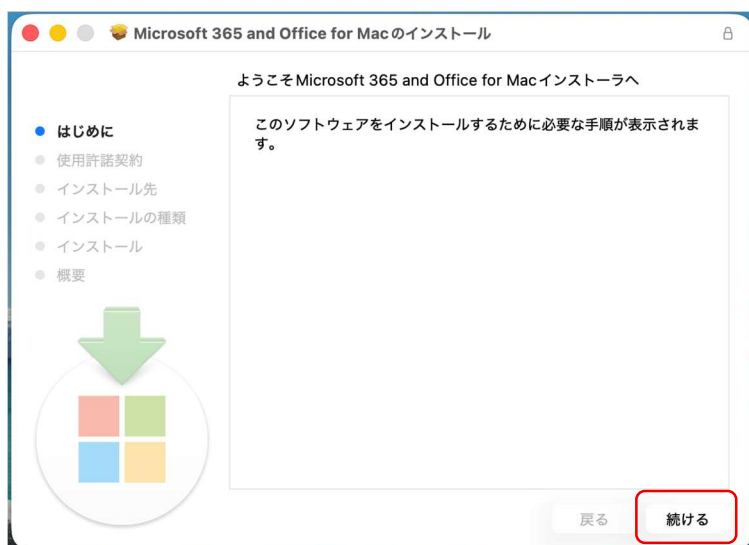
「Office のインストール」をクリックします。



しばらくすると、画面右下のダウンロード欄にインストールプログラムが出るので、そのファイルをクリックします。



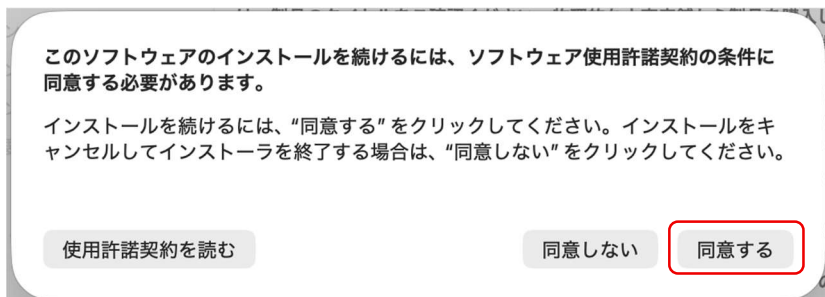
下記画面が出るので「続ける」をクリックします。



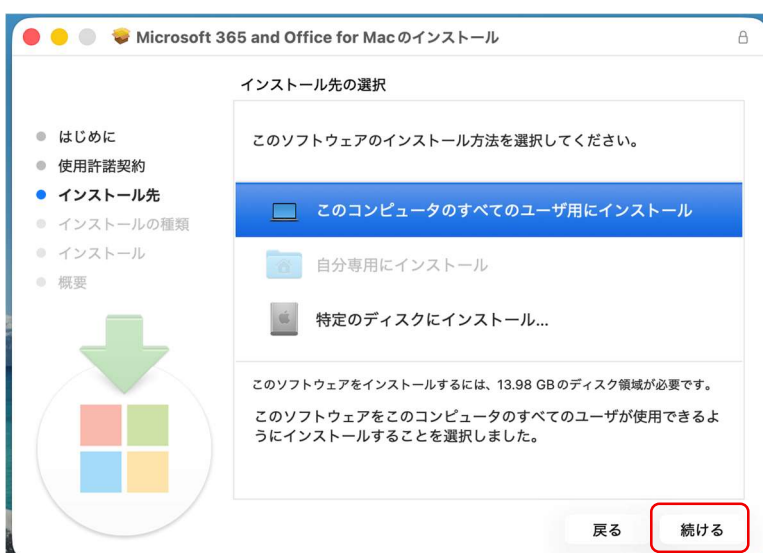
使用許諾契約画面が出るので、「続ける」をクリックします。



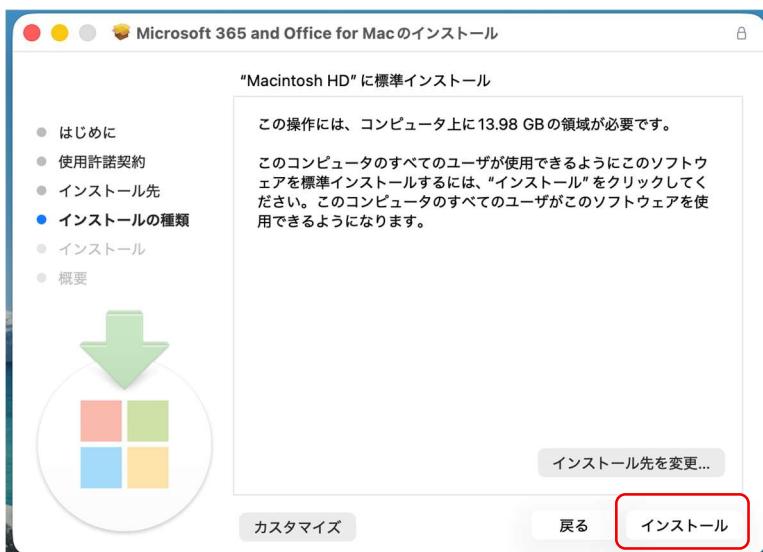
「同意する」をクリックします。



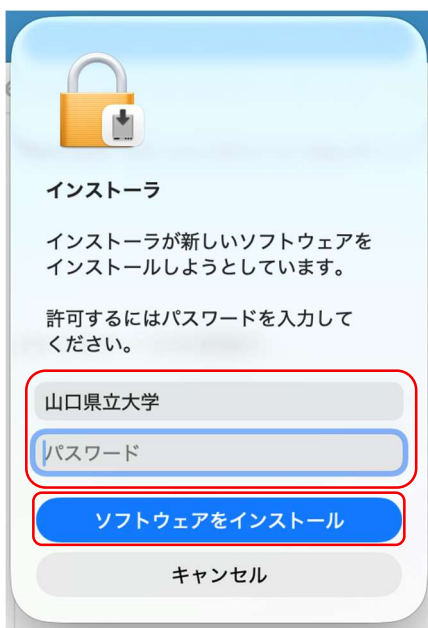
「続ける」をクリックします。



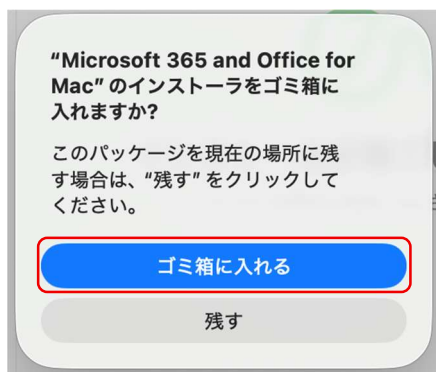
「インストール」をクリックします。



下記画面が出たら、Mac のログイン ID とパスワードを入力して「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



インストール終了後に下記画面が出るので、「ゴミ箱に入れる」をクリックしてください。



以上で、最新版 Office のインストールは完了し、アプリを使用できる準備が整いました。

#### 4. 注意・補足事項

今回インストールした最新版 Office の中で使用頻度の高いアプリの説明は次の通りです。

- Word: ワードプロセッサで、文書作成や編集に使用されます。
- PowerPoint: プレゼンテーション作成ツールで、スライドショーを作成できます。
- Excel: スプレッドシート（表計算）アプリで、データの分析や計算に適しています。
- Teams: コラボレーションツールで、チャット、ビデオ会議、ファイル共有ができます。
- OneNote: ノート作成アプリで、メモやアイデアの整理に便利です。
- Outlook: メールクライアントで、メールの送受信やカレンダー管理ができます。

この中で、Outlook と Teams のカレンダー機能では、スケジュールを共有したり授業や打ち合わせの予定を送付したり、それに対して承認などを返信することができます。この機会にメールのやりとりは、Outlook を用いることを推奨いたします。Outlook の設定については、「Outlook 初期設定手順書」を参照ください。

また、次に示すアプリの使用も可能です。インストールせずに WEB で使用するものも含まれます。積極的な活用を期待いたします。

- Stream: 動画共有プラットフォームで、教育コンテンツの共有に適しています。
- Access: データベース管理ツールで、データの整理と分析ができます。
- OneDrive: クラウドストレージで、ファイルの保存と共有ができます。
- SharePoint: チームメンバーがファイルやドキュメントを共有し、効率的にアクセスできるプラットフォームです。
- Forms: アンケートやクイズを作成し、回答を収集できるツールです。
- Lists: データの追跡と整理を支援するアプリです。
- Power BI: 様々な数値データをグラフや集計表として可視化し、解析するツールです。ビジネス上の迅速な意思決定を実現できます。
- Planner: タスク管理ツールで、プロジェクトの進捗を追跡できます。
- Viva Learning: 学習コンテンツを統合的に管理し、学習体験を向上させます。
- Power Apps: カスタムアプリケーションを作成するためのプラットフォームです。
- Power Automate: ワークフローを自動化することで、繰り返し作業が簡単になります。
- Whiteboard: コラボレーション用のデジタルホワイトボード。
- Visio: 図表やフローチャートを作成するアプリです。
- 承認: Teams の中で稟議・承認を行えるアプリです。

Microsoft365 は 30 日に 1 回程度インターネット経由でライセンス認証が必要です。認証自体はバ

ックグラウンドで行われるので、普段からサインインして使用していれば気にする必要はありませんが、端末が30日以上オフラインとなると機能低下モードとなりますのでご注意ください。ネットにつなぎMicrosoft365にサインインすることで、通常モードに戻ります。

本ライセンスは、“個人”に対して紐づくものです。本人以外の利用はできません。また、一つの端末を複数の人が使用する場合は、都度、その人のアカウントでサインインして使用することとなります。同じアカウントを複数の人が使いまわすことはライセンス違反となりますので、行わないでください。

パソコンを複数台持たれている方もおられると思いますが、今回契約しているA5プランにおいては、1ライセンス(=1メールアドレス)当たり、パソコン5台、タブレット5台、モバイルデバイス5台の最大15台までインストール可能です。もし、パソコンの買い替えなどにより、6台目のパソコンでOfficeを使用したい場合は、使用しなくなったパソコンを廃棄する前に、サインインした状態でアカウントの管理画面にて、該当のデバイスを“無効”にしてください。Officeをアンインストールしただけではライセンスは無効にはなりませんので、ご注意ください。

※Microsoft Authenticator アプリを iPhone に入れた場合、自動で削除されないように設定アプリから「App Store」→「非使用の App を取り除く」の設定をオフに変更してください。(自動で削除されると認証できなくなります)

## 5. 問い合わせ先

将来構想推進局 DX・IR推進室(外線:083-929-6201)